

進学塾マイツ  
豊科教室  
安曇野市豊科の国道  
147号沿い、信濃毎  
日新聞安曇野支局の  
北、信交社の1階に才  
一パン。小中学生を対  
象に東京都と栃木県に  
展開し、県内では初開  
校となる。  
タブレット端末を活  
用した学習が特徴。生



2020年度から小学校5、6年生で教科化される英語や、小学校で必修となるプログラミング教育を取り入れる。外部講師を招いたイベントや課外授業なども予定し、進路の参考や自立心の養成にも結び付ける。

教室長の小高直樹さんは「これから必要になる考える力、調べて

★ぱそこん基礎講座  
～インターネット活用～  
編 ▽3月8日 インターネットでショッピングを楽しもう▽11日 インターネットを安  
全に使おう▽12日 G 0081eマップで旅

アドレスを明記し、は  
がき(〒399-107  
37 塩尻市大門八番  
町4-1)、メール(pc  
hiyoko@ghiyok  
o.net)、FAX  
人H-I-YOKO 854.  
600

**NEW!!**  
**DOPEN:**

学習塾

# 有機・自然農法を支援

自然農法国際研究開発センター 水稲栽培の勉強会

松本市波田の公益財団法人「自然農法国際研究開発センター」は有機、自然農法を中心としたノウハウの研究や開発、普及に取り組んでいる。このほど開いた水稻栽培の勉強会には、県内外から60人余りの農業者が参加した。

江秋彥



有機農法の水稻栽培についての勉強会で話を聞く参加者

**初期生育不良を改善  
雑草のリスク軽減へ**

勉強会は同センターリ  
研究部の三木昭彦次長  
(43)が講義。有機農法  
で栽培する最大の課題  
は「雑草対策」として  
上で、「苗を植えた初  
期段階での生育不良

有機農業に取り組む農業者は、全国で〇・5%。全国の有機JASに認定された耕地面積は2009年以降、微増しているが、そのうち水田面積は12年以降、横ばい傾向という。

同センター☎91

有機稻作が広がつな  
育不良を引き起しき田の硫化水素を、網つき板で簡単に調べる検知装置で、特許願中。今春にも商標する予定という。

を開発した。水稻の

を開発した。水稻の生育不良を引き起こす水田の硫化水素を、銀はつき板で簡単に調べて検知装置で、特許を出願中。今春にも商品化する予定といつ。

稻の収穫後、早期に稲わらをすき込み、田植えをやや遅らせることや、その間のほ場の水分量の管理などポイントを解説し、「土作りが栽培を成功させること」とした。

有機稻作は秋がスタートで、田植えがゴル」とした。

木さん）と指摘する。

同センターでは、作物の効率化、収量の定化を図るために、新潟県農業総合研究所などと共に「水稻初期生育を改善する土壤技術」を研究開発している。

が、雑草のリスクを大きくする。ここが安定すればリスクが大幅に軽減でき、田植え以降の作業に余裕が生まれる」と説明。

「稻作は新規就農者にとって、畑作に比べ農機具など初期投資の負

い理由に、除草を筆頭に労働時間が長いことなどが挙げられる。加えて、

い理由に、除草を筆頭

The image is a promotional graphic for a restaurant named 'Hanano舞' (Hanano-Mai). It features a pink background with a large, stylized logo in the center. The logo consists of the word 'Hanano' in a pink, rounded font above the word 'Mai' in a larger, yellow, stylized font. Below the logo is a photograph of a meal, likely a set course, consisting of various dishes including what appears to be a salad and some grains. In the top right corner, there is a purple speech bubble containing the text 'はなの舞 松本駅前店' (Hanano-Mai Matsumoto Eki-mae Branch). The overall design is vibrant and eye-catching.